

## 「縁の下の力持ち」として

たかはし葬儀社の強力な縁の下の力持ちとなり、お客様への貢献を。これが私の大切な原動力です。

新卒から葬儀業界で働き始め、8年目を迎えました。前社でもバックオフィスを中心にさまざまな業務を担っていましたが、次第に「私の強みであるサポート力で貢献がしたい」と思うようになり、転職を決めました。

視野を広げるべく、他業界の選考にも挑戦。しかし「お客様と深く関わりたい」という想いを捨てきれず、ふたたび葬儀業界を選びました。

そんな転職活動の中で「たかはし葬儀社」に出会いました。

一次面接の社長面談にて、その人柄や想いに心が惹かれていきました。前社では分業制が敷かれていましたが、たかはし葬儀社ではチーム一丸となってお客様と向き合っている姿が浮かび、ここで働きたいと強く思い、入社を決意。

現在は「営業事務」として、葬祭ディレクターや仏具店でのサポートに携わり、社内全体が円滑に進むよう尽力しています。

たかはし葬儀社に入社してから、今でも印象に残っている思い出があります。

仏壇に置くお供物を探していたお客様が、和菓子をリアルに模したローソクを眺めながら「この和菓子、祖母が好きだったんです」とこぼしたのです。

そこで私が「本物の和菓子より長くお供えでき、ほのかな甘い香りも味わえますよ。お供えし、故人様との思いを馳せてみてはいかがでしょう」とお伝えしたところ、すごく喜んでくださって。湯呑みのローソクと一緒に買い上げになりました。

お客様の深い部分に触れられる接客は、葬儀社ならではです。これからも沢山の方々に喜んでもらえるよう、想像力を駆使し、お客様と向き合っていきます。

次なる目標は、リーダーを任せてもらえるよう努めること。

これまで働いた職場では、メンバーの個性を尊重せず、自身の枠にはめようとするリーダーに出会い、もどかしさを感じたこともありましたが。

仕事をしていると、苦手なことも乗り越えなければいけない局面もあるでしょう。メンバーがつまづいているときには、私が全身全霊でサポートし、一緒に乗り越える。日々メンバーに寄り添い、傾聴する姿勢を大切にしながら引張る存在になりたいです。

自身がそんな存在になれたらきっと、たかはし葬儀社全体がさらに信頼される会社になれるのではないかと信じています。これからも愚直に、日々の仕事を大切に紡いでいきます。



The Philosophy of TAKAHASHI SOUGISHA

あなたと共に生きる

# Ryo Sato

